

労働者家庭 生活技術指導状況報告

昭和40年(39年10月~40年9月)

労働省婦人少年局

は し が き

労働者家庭の主婦を対象とする生活技術指導は、別添の実施要綱にもとづき、各婦人少年室において昭和33年から実施している。開始以来、モデル地区として生活技術指導の対象となった事業場は、指導を終了したものの及び、現在も指導を継続して受けているものと合わせて、20ヶ事業場である。

指導内容は、家計指導や衣食住に関することから、保健衛生、子どもの教育、人間関係など広範にわたっているが、対象家族、生活条件、生活環境等の実情を勘案して、それぞれのモデル地区に必要なものを選び、理論と実地指導を行なっている。

特に昭和37年10月からは、労働者家庭消費生活向上運動(5年間)の実践地区として、運動のテーマに即した指導を行なうこととし、40年(昭和39年10月～40年9月)は、3年度のテーマ「文化教養の充実にために消費生活をととのえる」に沿った指導を行なった。

指導は、特にそのために置かれている婦人少年室専任協助員が、室長の指示にもとづいて行なっているが、必要に応じて各分野の専門家、有識者等を委嘱し、専任協助員の行なう指導に加えて協力を得ている。

なお、指導計画を終了し「家政研究グループ」に移行した地区に対しては、側面的に助言指導を行なっている。

昭和41年 6月

労働省 婦人少年局

モデル地区における労働者家庭生活 向上のための技術指導計画実施要領

趣旨

労働者が十分な生産活動を行なうためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上が求められるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地域における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的、継続的に指導援助を行なうものとする。

実施対象

労働者住宅密集地域の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

実施方法

労働省婦人少年局は労働者家族の生活技術指導を担当する協助員を選任し、婦人少年室を通じて下の方法によって指導を行なうものとする。

(1) 懇談会の開催

婦人少年室長は専任協助員とともにこの問題についての関心をたかめるため、労働者家族および関係事業所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催するものとする。

(2) 専任協助員による技術指導

専任協助員はモデル地区に出張し、直接労働者家族に接して集団指導を行なうものとする。

(3) 連絡員

婦人少年室長はモデル地区に居住する労働者家族の中から特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員としておくよう勧奨する。

4. 指導方法

家計、保健、衛生、家事作業、教養、娯楽、人間関係等家庭生活に含まれる諸項目に関し、向上のために必要な知識の普及および技術の指導ならびに協同活動の育成指導を行なうものとする。

5. 実施開始の時期

昭和33年労働者家族福祉運動期間中に懇談会を開催し、爾後継続的に技術指導を行なうものとする。

生活技術指導のため

都道府 県別	事業場名	従業 員数	対象世帯について		集会所 の有無
			世帯数	平均 家族数	
北海道	住友石炭鉱業(株) 歌志内鉱業所	1628	1379	5	有
青森	日本高岡波鋼業(株) ノハナ工場	273	102	3	有
	日本国有鉄道 盛岡鉄道管理局	14516	120	86	有
岩手	小岩井農牧(株) 小岩井農場	204	63	4	無
	日本国有鉄道 盛岡 鉄道管理局(木沢地区)	14516	128	84	有
宮城	東北ゴム(株)	1227	87	4	
秋田	(送定中)				
山形	東芝電機(株) 小国製造所	1500	823	82	有
福島	(送定中)				
茨城	日製那珂工場	2262	108	83	有
栃木	(送定中)				
群馬	(送定中)				
埼玉	秩父セメント(株)	1618	85	32	有
千葉	(送定中)				
東京	(送定中)				
神奈川	日本硝子(株) 横浜工場	1822	88	33	無

モデル地区一覧表

(昭和39年10月～40年9月)

モデル地区労働者 の平均賃金	主婦会 家族会		室からの 所要時間	備 考
	有 無	加入状況		
31892	有	1035	180	39.7～40.6実施
浜地区 35300 観音地区 42500	無	-	190	39.10終了
44500	無	-	15	40.1～40.12実施
20700	無	-	20	39.12終了
49600	有	0	15	40.1～40.12実施
33650	無	-	40	39.10～40.9実施
31160	有	全員	180	39.4～41.3実施
38948	無	-	20	39.10～40.9実施
35789	有	全員	130	39.1～39.12終了
54552	無	-	40	39.10～40.9実施

都道府県別	事業所名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無
			世帯数	平均家族数	
新潟	(送定中)				
富山	日本海重工業(株)	780	100	3.8	有
石川	(送定中)				
福井	敦賀セメント(株) 敦賀工場	473	35	3	有
山梨	東京電力(株) 山梨支店	1530	38	3.5	有
長野	(送定中)				
岐阜	(送定中)				
静岡	鐘ヶ淵紡績(株) 静岡工場	348	74	4	有
	(株) 巴川製紙所	936	88	2.7	
愛知	中部電力(株)	18,776	200	4	無
三重	近江絹糸紡績(株) 津工場	1,140	68	3.0	有
滋賀	西日本精工(株)	860	22	3.7	有
京都	(送定中)				
大阪	茨木市中條地区		80	4.0	有
兵庫	石川島播磨重工業(株) 相生工場	6,527	345		有
奈良	(送定中)				

モデル地区労働者の平均賃金	主婦会・家族会		室からの所要時間	備 考
	有 無	加入状況		
39,813	無	-	40	39.10~40.9 実施
40,033	無	-	95	39.12 終了
33,000	無	-	30	39.12 終了
37,500	無	-	45	39.12 終了
49,000	無	-	50	40.2~41.1 実施
35,000	無	-	50	39.11 終了
38,000	無	-	20	39.10~40.9 実施
64,364	無	-	40	39.10~40.9 実施
35,000	無	-	50	40.1 終了
31,000	有	全 員	120	39.1~40.9 実施

都道府 県 別	事業場名	従 業 員 数	対象世帯について		集会所 の有無
			世帯数	平 均 家族数	
和歌山	(送 定 中)				
鳥 取	日本バルブ工業(株) 米子工場	813	104	4	有
島 根	日立金属工業(株) 安来工場	2,100	80	4	有
岡 山	三菱重工業(株) 小島自動車製作所	3815		3.3	有
広 島	三菱重工 (株) 広島精機製作所	1615	139	3.5	有
山 口	東洋鋼板 (株) 下松工場	1843	45	4	有
徳 島	四国電力 (株) 小松電力所	42	20	4.7	有
香 川	四国電力 (株)	6475	35	3.3	無
愛 媛	帝人 松山工場	3,200	342	3.7	有
高 知	(送 定 中)				
福 岡	三井金属鉱業(株) 三池製煉所	2,134	46	4	有
佐 賀	(送 定 中)				
長 崎	三菱重工業(株) 長崎造船所	1,500	200	4.5	
熊 本	日立セメント(株) 八代工場	380	82	2.8	有
大 分	九州電力(株) 藤原電力所	22	37	4	無
宮 崎	(送 定 中)				
鹿 児 島	(送 定 中)				

～8～

モデル地区労働者 の 平 均 賃 金	主婦会・家族会		室からの 所要時間	備 考
	有 無	加入状況		
35,000	無	-	170	40.3 終了
35,500	無	-	45	39.1～40.9 実施
43,000	無	-	30	40.1～40.12 実施
36,000	有	139	20	40.4～41.9 実施
50,600	有	全 員	110	39.12 終了
36,121	無	-	30	39.11～40.10 実施
33,500	無	-	20	40.4 終了
40,000	無	-	40	40.1～40.12 実施
37,242	有	33	110	39.10～41.9 実施
30,000	有	200	43	40.3 終了
44,000	無	-	90	40.3～実施
32,000	有	37	50	40.5 終了

～9～

労働者家庭生活技術指導状況

(昭和39年10月～40年9月)

1. 対象地区 3ヶ所
2. 対象主婦数 8,683人(以上)
3. 指導方法
 - 講義、実習、討議、見学、資料の配布等
- ※ 指導者(婦人少年堂関係者を除く)
 - 教師(大学教授、助教授、高校教師等)
 - 教育委員会関係者(教育長、指導主事等)
 - 生活改良普及員
 - 児童相談所長
 - 職業訓練所長、指導員
 - 内職公共職業補導所長
 - 図書館司書
 - 裁判所調査官
 - 法務局人権擁護課長
 - 友の会リーダー、婦人学級世話人
 - その他(生花教師、人形製作教授、海上保安部員、等)
5. 指導回数
 - 1ヵ月1回、2時間(平均)

6. 主な指導項目

(1) 家庭経済に関するもの

労働者家庭における文化教養の必要性和予算化の方法

法

社会の動きと家庭経済への影響について

国の予算と家庭との結びつきについて

合理的な消費生活

上手な買物のしかた

予算生活について

予算生活の意義、必要性

予算のたて方

家計簿の記入方法

家計一年の反省と検討

均こうのとれた家庭管理

(2) 食生活に関するもの

家族の健康管理と栄養

1日の栄養必要量

夏期における栄養のとり方

大豆の栄養

幼児の食事(栄養の与え方、離乳食、おやつ)

主婦の昼食の検討

梅雨期における食生活の注意点

漬けものの効用とつけ方

台所の整理、衛生

食事のマナー

西洋料理のマナー

会食のマナー

正しい食事のとり方

ホテル見学と実習

○実習

行事の料理（正月料理、節句料理、クリスマス料理

誕生日の料理等）

季節の家庭料理

鍋料理いろいろ

ずしいろいろ

サラダいろいろ

野外料理

子どものおやつ

和洋菓子

各種飲みもの

お弁当

そうざい料理

インスタント料理

保存食

その他

(3) 衣生活に関するもの

衣服の手入れと保存

梅雨期の衣服管理

衣服計画のたて方 — 衣類カードを使って —

調和のとれた衣生活 — 季節、生活機能を考えて —

衣類の洗濯のしかた

洗う前の注意

繊維の種類と洗剤

洗剤の使い方、つかい方

中性洗剤、合成洗剤の性質

しみぬき法

衣生活の工夫（衣類の更生法、少ない布地を使って）

寝具について

作成法

手入れ法

新しい寝具の特長と購入時の留意点

○実習

簡易フリーニング

毛織物の洗い方

のりの種類とみわけ方

寝具の手入れ

手芸(刺しゅう、染物、造花、人形製作等)

(4) 住生活に関するもの

美しく住むための工夫と心がけ

室内装飾について

家具の置き方と部屋の雰囲気

家具の用途と選び方

清掃のしかた

梅雨時の家具管理

住居の衛生について(害虫の駆除、環境の整備等)

耐久消費財の買い方、扱い方

家庭電機器具の扱い方及び簡単な修理のしかた

(5) 保健衛生に関するもの

勤労者家庭における健康管理について

定期健康診断実施の必要性

病気の予防と手当の知識

環境衛生について

食品衛生について

成人病について

更年期について

主婦の健康保持について

月曜病について(症状、原因及び予防法)

応急手当の施し方

疲労回復の方法

(6) 家庭生活に関するもの

勤労者家庭における文化教養の現状

勤労者家庭における主婦の役わり

現代社会における家庭の意義、役わり

明るい家族関係の樹立

家族間のエチケットについて

親子関係について

老人への理解を深める

世代間の相違と理解を深めるための努力

交際について

(7) 生活設計に関するもの

勤労者家庭の将来の生活設計

心身ともに豊かな老後のための生活設計

生活の合理化

生活時間を有意義に過ごすために

主婦の生活時間調べ

1週間 } の生活設計
1日 }

余暇の上手な生かし方

(8) 子供の教育等に関するもの

児童心理について(特長および扱い方)

少年期の心理と扱い方

子供のしつけ方

学校教育の夜せんについて

教育ママの問題点

欧米の幼児教育

子どもの遊びと環境

子どもの生活指導

小づかいの与え方

教育相談実施

(9) 婦人団向に関するもの

婦人団向の趣旨と意義

テーマの解説とテーマに沿った懇談

地方婦人会議参加

全国婦人会議報告

(10) その他

働く婦人の問題(中高年婦人の職場と家庭、内職問題等)

法律の話(民法、家族法、婦人に関連のある法律等)

マスコミについて(テレビ、ラジオを聴取して、こんだん等)

婦人団体のあり方について

礼儀作法について

生花

交通安全について

海難救助実施指導

映画上映

今年度テーマについて懇談、講演

勤労者家庭消費生活向上運動実績発表会

(11) 社会見学

工場

新聞社

放送局

史跡めぐり（文化財の再認識）

自衛隊

ホテル

フ 家政研究グループへの移行

ノカ年^{（1）}の指導を終えたモデル地区では、その後、自主的に研究実施をすすめる体制を持つように指導しており、家政研究グループと呼んでいる。××年×月からは新たに××モデル地区の主婦が家政研究グループに移行し、全国で××か所となった。

これらのグループは、勤労者家庭の問題について、婦人少年室の指導に続いて、自主的に問題の研究、実習、懇談、見学等を行なっているが、婦人少年室は、必要に応じて、企画や指導面で援助を与えている。